

CA Product Vision

実装ガイド

Summer 2012



CA Technologies 製品リファレンス

このドキュメントセットは、以下の CA Technologies ブランドおよび製品を参照します。

- CA Agile Vision™
- CA Product Vision
- CA Clarity PPM
- CA Software Change Manager

このドキュメント(組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中止、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2012 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CAへの連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>)をご覧ください。

目次

第 1 章: 概要	7
第 2 章: CA Product Vision のインストールおよび設定	9
CA Product Vision のインストール準備.....	10
新規パッケージのインストール.....	11
インストール済みパッケージの確認.....	13
Vision ライセンスを指定します	13
CA Product Vision の設定.....	14
CA Product Vision を使用できるように既存のプロファイルを設定.....	15
OOTB チャートおよびレポートの表示権限の設定	15
第 3 章: 以前のリリースからのアップグレード	19
概要: CA Product Vision の現在のリリースへのアップグレード	20
Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します	21
新規パッケージのインストール	22
インストール済みパッケージの確認	23
Vision ライセンスを指定します	24
ユーザプロファイルの更新	25
アップグレードジョブの実行	26
CA Product Vision Spring 2012 から CA Product Vision Spring 2012 Service Pack 1 へのアップグ レード方法	28
Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します	28
新規パッケージのインストール	29
CA Product Vision Winter 2012 から CA Product Vision Spring 2012 へのアップグレード方法	31
Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します	31
新規パッケージのインストール	32
Winter 2012、Service Pack 1 から CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 2 へアップグレー ドする方法	34
CA Product Vision のインストール	34
CA Product Vision のデプロイ	37
Winter 2012 から CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 1 へアップグレードする方法	38

CA Product Vision のインストール	39
ユーザプロファイルの更新	41
アップグレードジョブ (Winter 2012) の実行	42
Spring 2011 バージョン 2.10 から CA Product Vision Winter 2012 バージョン 3.0 にアップグレードする方法	44
ユーザプロファイルの更新	44
アップグレードジョブ (Winter 2012) の実行	45
CA Product Vision Winter 2011 A1 から Spring 2011 へのアップグレード方法	47
選択リスト値へのカスタム値のコピー	47
ユーザプロファイルの更新	49
インボックスのアップグレード	55
アップグレードジョブの実行	56
CA Product Vision バージョン 2.8 からバージョン 2.10 へのアップグレード	57
 第 4 章: CA Vision アドイン	 61
CA Agile Vision アドインのダウンロード	61
CA Vision アドインのインストール	62
CA Clarity PPM 用の CA Vision アドインのアップグレード	62
CA Vision のプロセスとジョブの無効化	63
CA Vision アドインの適用	64
CA Vision アドインの設定	64
 第 5 章: CA Product Vision を完全機能状態にします。	 67
CA Agile Vision のみのアップグレード後に CA Product Vision を設定する方法	67
Product Vision スーパー ユーザプロファイルの作成	68
Product Vision ユーザプロファイルの作成	73
Vision スーパー ユーザプロファイルの作成	80
Vision ユーザプロファイルの作成	85

第1章：概要

CA Product Vision ヘルプへようこそ このドキュメントに記載されている情報によって、この新規リリースを導入し、以下のタスクを実行することができます。

- [CA Product Vision のインストールおよび設定 \(P. 9\)](#)
- [以前のリリースからのアップグレード \(P. 19\)](#)
- [CA Vision アドイン \(P. 61\)](#)
- [CA Product Vision を完全機能状態にします。 \(P. 67\)](#)

第 2 章: CA Product Vision のインストールおよび設定

既存の Salesforce.com 組織に CA Product Vision を新規インストールする場合、以下のセクションの手順を完了します。

CA Product Vision を使用するのが初めてで、既存の Salesforce.com 組織がない場合、以下の手順を完了する必要はありません。CA サポートによって提供される URL とログイン情報を使用して、CA Product Vision に直接ログインすることができます。

注: 既存の Salesforce.com 組織へインストールするときは、アクティブな Salesforce プラットフォームライセンスを 1 つ以上持っていることを確認してください。アクティブなライセンスがない場合は、インストールを中止し、Salesforce.com サポートまたは CA Technologies 販売代理店に連絡してください。Salesforce プラットフォームライセンスがないと、インストールの完了に必要な標準プラットフォームプロファイルが与えられません。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision のインストール準備 \(P. 10\)](#)

[新規パッケージのインストール \(P. 11\)](#)

[インストール済みパッケージの確認 \(P. 13\)](#)

[Vision ライセンスを指定します \(P. 13\)](#)

[CA Product Vision の設定 \(P. 14\)](#)

CA Product Vision のインストール準備

CA Product Vision または CA Agile Vision を初めてインストール前に、必要なプロファイルを設定し、Chatter を有効にします。

CA Agile Vision、CA Product Vision または両方の製品をインストールする場合に必要となるプロファイルを以下の表に示します。

プロファイル	CA Agile Vision	CA Product Vision	CA Agile Vision および CA Product Vision
Agile Vision スーパーユーザ	X		X
Agile Vision ユーザ	X		X
Product Vision スーパーユーザ		X	X
Product Vision ユーザ		X	X
Vision スーパーユーザ			X
Vision ユーザ			X

次の手順に従ってください:

1. Salesforce.com 組織にログインします。
2. [設定]リンクをクリックして、Salesforce.com 上の[Personal Setup]ページに移動します。
3. [Administration Setup]メニューから[Company Profile]を選択し、[Company Information]に移動します。
[Company Information]ページが表示されます。
4. [User Licenses]セクションまでスクロールし、少なくとも 1 つの Salesforce プラットフォームライセンスがアクティブになっていることを確認します。少なくとも 1 つの Salesforce プラットフォームライセンスがアクティブになっていない場合は、Salesforce.com のサポートにご連絡ください。
5. [Administration Setup]メニューから[Manage Users]を選択し、プロファイルに移動します。
ユーザプロファイルページが表示されます。

6. 標準プラットフォーム ユーザ プロファイルをコピーして、以下のプロファイルを作成します。標準プラットフォーム ユーザ プロファイルを利用できるのは、アクティブな Salesforce プラットフォーム ライセンスを 1 つ以上持っている場合だけです。
この手順の最初に記載されている表には、CA Agile Vision、CA Product Vision またはその両方をインストールする場合、どのプロファイルが必要になるかが示されています。
7. Chatter を有効にするには、以下の手順に従います。
 - a. [App Setup] メニューから、[Customize] をクリックして展開し、[Chatter] をクリックして展開し、次に [Settings] をクリックします。
[Chatter Settings] ページが表示されます。
 - b. [Edit] をクリックします。
 - c. [Chatter Settings] セクションの [Enable] チェック ボックスをオンにします。
 - d. [Save] をクリックします。
8. Salesforce.com からログアウトします。

新規パッケージのインストール

インストールを開始する前に、パッケージを実稼働環境にインストールするか、テスト環境にインストールするかを決定します。

以下の手順で、インストール サイトへログインし、パッケージをインストールします。

以下の表は、各プロファイルのアクセス レベルを示しています。

ユーザ プロファイル	アクセス レベル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ

Vision ユーザ

Vision ユーザ

次の手順に従ってください:

1. 以下のいずれかの URL にシステム管理者としてログインします。

実稼働環境:

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000JoGj>

テスト環境

<https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000JoGj>

2. 以下の情報を確認します。

バージョン名

Summer 2012

バージョン番号

3.6

発行元

CA Technologies

3. [続行]をクリックします。

[Approve Package API Access]手順ページが表示されます。

4. [次へ]をクリックします。

[Choose security level]ページが表示されます。

5. [Security Settings]オプションを選択して、プロファイル別にユーザアクセスを設定します。

6. 各プロファイルのアクセスレベルを上の表の記述どおりに設定します。

7. [次へ]をクリックします。

8. [Install]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷によっては、このインストールに 30 分以上かかる場合があります。

インストールが完了すると、Salesforce.com から、以前のログインで使われた電子メール アドレスに、インストールが成功したことを通知する電子メールが送信されます。

インストール済みパッケージの確認

新しいパッケージがインストールされると、パッケージは自動的に展開されます。パッケージが正しいバージョンであることを確認します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](https://salesforce.com) にログインします。
2. CA Agile Vision または CA Product Vision ホーム ページから、[セットアップ] をクリックします。
[Salesforce.com](https://salesforce.com) で [Personal Setup] ページが表示されます。
3. [App Setup] メニューから [Installed Packages] を選択します。
4. CA Technologies - PPM バージョン 3.6 のパッケージがインストールされていることを確認します。

Vision ライセンスを指定します

正しい Vision 製品ライセンスが有効であることを確認します。既定では、CA Agile Vision および CA Product Vision の両方が有効です。これらの製品の一方のライセンスのみを購入された場合は、以下の説明に従って、もう一方を無効にしてください。

次の手順に従ってください:

1. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。

実稼働環境

<https://ca-agile.naxx.visual.force.com/apex/PackageSettings>

テスト環境

<https://ca-agile.csxx.visual.force.com/apex/PackageSettings>

xx

Vision 製品がインストールされている組織のインスタンス番号です。製品にログインし、ホーム ページ URL 内の xx の値を確認することにより、この値を検索できます。

2. 以下のオプションのいずれを選択して、[保存]をクリックします。
 - CA Agile Vision のみのライセンスを所有している場合は、[Product Vision]チェックボックスをオフにします。
 - CA Product Vision のみのライセンスを所有している場合は、[Agile Vision]チェックボックスをオフにします。
 - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェックボックスをオンにしておきます。

Vision 製品のライセンスが正しく指定されました。

CA Product Vision の設定

ライセンスを指定した後、CA Agile Vision を設定するために以下の手順を実行します。

次の手順に従ってください:

1. 以下の URL にある CA Product Vision にログインします。
<https://cavision.cloudforce.com>
2. [Setup]メニューをクリックします。
[Personal Setup]ページが表示されます。
3. [Administration Setup]メニューから[Manage Users]を選択し、プロファイルに移動します。
ユーザプロファイルページが表示されます。
4. CA Product Vision のインストール準備中に作成した新規プロファイルの [Name]リンクをクリックします。
プロファイルページが表示されます。
5. [Custom App Settings]セクションまでスクロールし、Agile Vision コアの [Default]オプションを選択します。
6. 変更を保存します。
7. ステップ 3 ~ 5 を繰り返し、作成した新規プロファイルごとに、既定のアプリケーションとして Agile Vision コアを設定します。

CA Product Vision を使用できるように既存のプロファイルを設定

CA Agile Vision または CA Product Vision オブジェクトに適切な読み取り/書き込み権限を提供するため、Salesforce.com ユーザ プロファイルを編集します。プロファイルには、アプリケーションを構成する Visualforce ページの実行許可も必要です。インストール プロセスの開始時に作成したプロファイルを使用して、必要な権限セットを決定します。必要な設定をコピーします。

詳細については、Force.com プラットフォームのドキュメントを参照してください。

OOTB チャートおよびレポートの表示権限の設定

Vision パブリック ダッシュボードでは、すべてのプロファイルの設定が必要です。ユーザが Agile Vision ダッシュボード、または Product Vision ダッシュボードからチャートおよびレポートを表示できるように、管理者がプロファイルを設定する必要があります。

次の手順に従ってください：

1. システム管理者としてログインし、[Setup]をクリックします。
 2. [Dashboards]をクリックし、Agile Vision ダッシュボードなどの Vision ダッシュボードの 1 つを開きます。
 3. [Edit]をクリックします。
- ダッシュボード編集オプションのページが表示されます。
4. ダッシュボード表示設定用のフィールドに「*(アスタリスク)」を入力して、アティブなユーザをフィルタします。管理者権限のないユーザ ID を選択します。
 5. [View Dashboard]フィールドの隣にある下矢印キーをクリックし、[Run as logged-in user]を選択します。
 6. [OK]をクリックして、[保存]をクリックします。

7. この手順の最後にある表に従って、Salesforce プラットフォーム プロファイルを設定します。
 - a. [Setup] ページに戻り、[Manage Users]、次に [Profiles] を展開します。
 - b. プロファイルの名前をクリックし、[Edit] をクリックします。
 - Vision スーパーユーザ
 - Vision ユーザ
 - Agile Vision スーパーユーザ
 - Agile Vision ユーザ
 - Product Vision スーパーユーザ
 - Product Vision ユーザ
 - c. [管理権限] までスクロールして、次のテーブル内の値に基づいて権限を選択またはクリアします。
 - d. [一般ユーザ権限] までスクロールして、以下のテーブルの値に基づいて権限を選択またはクリアします。
 - e. [Save] をクリックし、各プロファイルについて必要に応じてこの手順を繰り返します。

ユーザ ID にプロファイルを割り当てるとき、割り当てられたユーザは Vision パブリック ダッシュボード上でチャートおよびレポートへのアクセス権限を与えられます。プロファイルに関連付けられている権限に基づいて、ユーザは表示、変更、またはクローニングなどのアクションを実行できます。

権限タイプ	スーパー ユーザ	一般ユーザ
管理		
パブリック レポートの管理	はい	いいえ
ダッシュボードの管理	はい	はい
ダイナミックダッシュボードの管理	はい	はい
一般ユーザ		
レポートの作成およびカスタマイズ	はい	はい
レポートビルダ	はい	はい
レポートの実行	はい	はい
レポートのエクスポート	はい	はい
ダッシュボードビルダのドラッグ アン ド ドロップ	はい	はい
チームに割り当てられたダッシュボーダー の表示	はい	はい

第3章: 以前のリリースからのアップグレード

以下のセクションの情報を使って、現在のリリースにアップグレードします。

旧リリースから新規リリースにアップグレードする場合は、以下のアイテムについて考慮する必要があります。

- CA Agile Vision または CA Product Vision のライセンスがあり、CA Clarity PPM など他の製品と統合する場合は、CA Vision 製品および CA Vision アドインを同時にアップグレードします。
- リリースをスキップせずに、順番にアップグレードします。たとえば、現在 Winter 2012 をインストールしている場合は、Summer 2012 にアップグレードする前に Spring 2012 にアップグレードします。

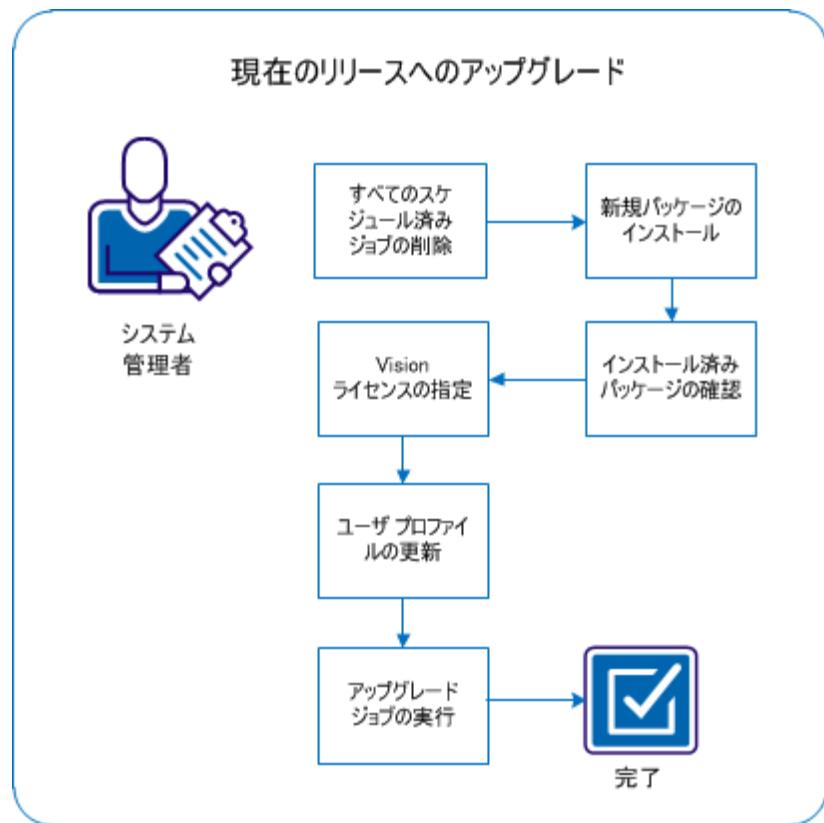
このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [概要: CA Product Vision の現在のリリースへのアップグレード \(P. 20\)](#)
[CA Product Vision Spring 2012 から CA Product Vision Spring 2012 Service Pack 1 へのアップグレード方法 \(P. 28\)](#)
[CA Product Vision Winter 2012 から CA Product Vision Spring 2012 へのアップグレード方法 \(P. 31\)](#)
[Winter 2012、Service Pack 1 から CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 2 へアップグレードする方法 \(P. 34\)](#)
[Winter 2012 から CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 1 へアップグレードする方法 \(P. 38\)](#)
[Spring 2011 バージョン 2.10 から CA Product Vision Winter 2012 バージョン 3.0 にアップグレードする方法 \(P. 44\)](#)
[CA Product Vision Winter 2011 A1 から Spring 2011 へのアップグレード方法 \(P. 47\)](#)
[CA Product Vision バージョン 2.8 からバージョン 2.10 へのアップグレード \(P. 57\)](#)

概要: CA Product Vision の現在のリリースへのアップグレード

このシナリオでは、システム管理者権限を持った Salesforce.com ユーザが CA Product Vision の新規リリースにアップグレードする方法を示します。このシナリオでは、Summer 2012 にアップグレードします。このアップグレードには、パッケージのインストールと展開、新規フィーチャー用のユーザ プロファイルおよびオブジェクトの設定が含まれます。

以下の図は、管理者が CA Product Vision を最新のリリースにアップグレードする方法を示しています。



CA Product Vision をアップグレードするには、以下の手順に従います。

1. [すべてのスケジュール済みジョブを削除します \(P. 21\)](#)。
2. [新規パッケージをインストールします \(P. 22\)](#)。
3. [インストール済みパッケージを確認します \(P. 13\)](#)。
4. [Vision ライセンスを指定します \(P. 13\)](#)。
5. [ユーザプロファイルを更新します \(P. 25\)](#)。
6. [アップグレードジョブを実行します。 \(P. 26\)](#)

Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します

新規リリースにアップグレードする前に、Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します。スケジュールされたジョブを削除すると、製品のアップグレードが正常に終了する確率が高くなります。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](#) にログインします。
2. [Setup] リンクをクリックします。
[Personal Setup] ページが表示されます。
3. [Administration Setup] セクションで、[Monitoring]、[Scheduled Jobs] を展開します。
4. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - Chart data point generation for User Story Completion Status
 - リリースの [Daily chart] データ ポイントの生成
 - 要件の [Daily chart] データ ポイントの生成
 - スプリントの [Daily chart] データ ポイントの生成
 - Daily update External Id for all objects
 - Requirements trend calculation
5. [Personal Setup] ページに戻ります。

これで、新規パッケージをインストールする準備ができました。

新規パッケージのインストール

インストールを開始する前に、パッケージを実稼働環境にインストールするか、テスト環境にインストールするかを決定します。

以下の手順で、インストール サイトへログインし、パッケージをインストールします。

以下の表は、各プロファイルのアクセス レベルを示しています。

ユーザ プロファイル	アクセス レベル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ
Vision ユーザ	Vision ユーザ

次の手順に従ってください:

1. 以下のいずれかの URL に管理者としてログインします。

実稼働環境:

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000J0Gj>

テスト環境

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000J0Gj>

2. 以下の情報を確認します。

バージョン名

Summer 2012

バージョン番号

3.6

発行元

CA Technologies

3. [続行]をクリックします。
[Handle Component Name Conflicts]ページが表示されます。
4. [Block installation and list conflicts]を選択して、[Next]をクリックします。
[Approve Package API Access]手順ページが表示されます。
5. [次へ]をクリックします。
[Choose security level]ページが表示されます。
6. [Security Settings]オプションを選択して、プロファイル別にユーザアクセスを設定します。
7. 各プロファイルのアクセスレベルを上の表の記述どおりに設定します。
8. [次へ]をクリックします。
9. [Install]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷によっては、このインストールに 30 分以上かかる場合があります。

インストールが完了すると、インストールの成功を通知する電子メールが Salesforce.com から、ログイン時に使われた電子メールアドレスに送信されます。

インストール済みパッケージの確認

新しいパッケージがインストールされると、パッケージは自動的に展開されます。パッケージが正しいバージョンであることを確認します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として Salesforce.com にログインします。
2. CA Agile Vision または CA Product Vision ホームページから、[セットアップ] をクリックします。
Salesforce.com で [Personal Setup] ページが表示されます。
3. [App Setup] メニューから [Installed Packages] を選択します。
4. CA Technologies - PPM バージョン 3.6 のパッケージがインストールされていることを確認します。

注: インストールの日付は更新されません。元のインストール日が表示されます。

Vision ライセンスを指定します

正しい Vision 製品ライセンスが有効であることを確認します。既定では、CA Agile Vision および CA Product Vision の両方が有効です。これらの製品の一方のライセンスのみを購入された場合は、以下の説明に従って、もう一方を無効にしてください。

次の手順に従ってください:

1. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。

実稼働環境

<https://ca-agile.naxx.visual.force.com/apex/PackageSettings>

テスト環境

<https://ca-agile.csxx.visual.force.com/apex/PackageSettings>

xx

Vision 製品がインストールされている組織のインスタンス番号です。製品にログインし、ホーム ページ URL 内の xx の値を確認することにより、この値を検索できます。

2. 以下のオプションのいずれを選択して、[保存]をクリックします。
 - CA Agile Vision のみのライセンスを所有している場合は、[Product Vision] チェック ボックスをオフにします。
 - CA Product Vision のみのライセンスを所有している場合は、[Agile Vision] チェック ボックスをオフにします。
 - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェック ボックスをオンにしておきます。

Vision 製品のライセンスが正しく指定されました。

ユーザ プロファイルの更新

指定されたユーザ プロファイルを更新して、すべてのユーザに必ず[ユーザストーリー完了ステータス]チャートへのアクセス権があるようにします。以下の表は、各プロファイルに対して追加または削除する必要があるカスタム オブジェクト権限を示しています。

プロファイル	カスタム オブジェクト	許可の追加	許可の削除
Agile Vision スーパーユーザ	ユーザストーリー完了ステータス	読み取り	
Agile Vision ユーザ	チーム	作成/削除	
	ユーザストーリー完了ステータス	読み取り	
Product Vision スーパーユーザ	QC フォルダ、QC プロジェクト、テストケース、テストケースのステップ	読み取り	
	要件フラット	読み取り/作成/編集/削除	
Product Vision ユーザ	QC フォルダ、QC プロジェクト、テストケース、テストケースのステップ	読み取り	
	要件フラット	読み取り/作成/編集/削除	
Vision スーパーユーザ	フィーチャー	すべて表示/すべて変更	
	ユーザストーリー完了ステータス	読み取り	
	要件フラット	読み取り/作成/編集/削除	
Vision ユーザ	チーム	作成/削除	
	ユーザストーリー完了ステータス	読み取り	
	要件フラット	読み取り/作成/編集/削除	

次の手順に従ってください:

1. 以下の URL で管理者としてログインします。
<https://cavision.cloudforce.com>
2. [Setup]をクリックします。
3. [Administration Setup]で、[Manage Users]を展開し、[Profiles]をクリックします。
4. 以下の手順で、各プロファイルを更新します。
 - a. 以下の各プロファイルの隣の[Edit]をクリックします。
 - Product Vision スーパーユーザ
 - Product Vision ユーザ
 - Vision スーパーユーザ
 - Vision ユーザ
 - b. 各プロファイルの[Custom Object Permissions]セクションに移動し、上の表に従い、権限を追加または削除します。

これで、これらのプロファイルを使用する Salesforce.com ユーザは[User Story Completion Status]チャートにアクセスできるようになりました。

アップグレード ジョブの実行

アップグレード ジョブを実行して、Summer 2012 の新規フィーチャーの既存データを移行します。

次の手順に従ってください:

1. 以下の URL で管理者としてログインします。

実稼働環境:

<https://cavision.cloudforce.com>

テスト環境

<https://test.salesforce.com>

2. [Setup]をクリックします。

Salesforce.com の[Personal Setup]ページが表示されます。

3. ログインに使用しているユーザ ID をクリックし、ドロップダウンリストから[Developer Console]を選択します。

4. [Logs]タブをクリックします。
5. [Execute]フィールドに以下のステートメントをコピーします。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.ProductMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TaskMigrationJob());
```
6. [実行]をクリックします。
7. [Personal Setup]ページに戻ります。
8. [Administration Setup]セクションに移動します。
9. [Monitoring]、[Apex Jobs]を展開して、サブミット済みジョブの進捗をモニタします。

ジョブが正常に完了すると、ユーザのデータは CA Product VisionSummer 2012 に移されます。「CA Vision Summer 2012 のデータ移行が完了しました」という件名で、Salesforce.com から、ログインに使用した電子メール アドレスに電子メールが送信されます。

注: 電子メールが受信されない場合は、ジャンクメール フォルダを確認してください。

CA Product Vision Spring 2012 から CA Product Vision Spring 2012 Service Pack 1 へのアップグレード方法

このセクションでは、CA Product Vision Spring 2012 リリースのインスタンスから Spring 2012 Service Pack1 へのアップグレードについて説明します。

重要: CA Product Vision Spring 2012 Service Pack 1 へのアップグレードと、CA Product Vision および CA Clarity PPM 用 CA Agile Vision アドインのアップグレードとを同時に進行するように計画してください。同時にアップグレードを完了することにより、リリースレベルを確実に同一にすることができます。

必須: Winter 2012 からのアップグレード 以前のリリースをインストールしている場合は、新規リリースにアップグレードする前に Winter 2012 にアップグレードしてください。

CA Agile Vision のアップグレードでは、管理者が複数のタスクを準備、アップグレード、および展開することが必要です。アップグレードプロセスのハイレベルタスクには以下が含まれます。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として Salesforce.com にログインします。
2. Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します。
3. 新規パッケージをインストールします。

Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します

新規リリースにアップグレードする前に、Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します。スケジュールされたジョブを削除すると、製品のアップグレードが正常に終了する確率が高くなります。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として Salesforce.com にログインします。
2. [Setup] リンクをクリックします。
[Personal Setup] ページが表示されます。

3. [Administration Setup] セクションで、[Monitoring]、[Scheduled Jobs] を展開します。
 4. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - Chart data point generation for User Story Completion Status
 - リリースの [Daily chart] データ ポイントの生成
 - 要件の [Daily chart] データ ポイントの生成
 - スプリントの [Daily chart] データ ポイントの生成
 - Daily update External Id for all objects
 - Requirements trend calculation
 5. [Personal Setup] ページに戻ります。
- これで、新規パッケージをインストールする準備ができました。

新規パッケージのインストール

インストールを開始する前に、パッケージを実稼働環境にインストールするか、テスト環境にインストールするかを決定します。

以下の手順で、インストール サイトへログインし、パッケージをインストールします。インストールが完了すると、インストールの成功を通知する電子メールが Salesforce.com から、ログイン時に使われた電子メール アドレスに送信されます。

以下の表は、各プロファイルのアクセス レベルを示しています。

ユーザ プロファイル	アクセス レベル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ
Vision ユーザ	Vision ユーザ

次の手順に従ってください:

1. 以下のいずれかの URL に管理者としてログインします。

実稼働環境:

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000JLAS>

テスト環境

<https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000JLAS>

2. 以下の情報を確認します。

バージョン名

Spring 2012 D1

バージョン番号

3.5

発行元

CA Technologies

3. [続行]をクリックします。

[Handle Component Name Conflicts]ページが表示されます。

4. [Block installation and list conflicts]を選択して、[Next]をクリックします。

[Approve Package API Access]手順ページが表示されます。

5. [Extended Object Permissions]を設定します。

6. すべてのオブジェクトの読み取り、作成、編集の許可を選択します。

7. [次へ]をクリックします。

[Choose security level]ページが表示されます。

8. [Security Settings]オプションを選択して、プロファイル別にユーザアクセスを設定します。

9. 各プロファイルのアクセスレベルを上の表の記述どおりに設定します。

10. [次へ]をクリックします。

11. [Install]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷によっては、このインストールに 30 分以上かかる場合があります。

CA Product Vision Winter 2012 から CA Product Vision Spring 2012 へのアップグレード方法

このセクションでは、Winter 2012 リリースから CA Product Vision Spring 2012 インスタンスへのアップグレードについて説明します。

重要: CA Product Vision Spring 2012 へのアップグレードと、CA Agile Vision および CA Clarity PPM 用 CA Agile Vision アドインのアップグレードとを同時に実行するように計画してください。同時にアップグレードを完了することにより、リリースレベルを確実に同一にすることができます。

必須: Winter 2012 からのアップグレード 以前のリリースをインストールしている場合は、新規リリースにアップグレードする前に Winter 2012 にアップグレードしてください。

CA Product Vision のアップグレードでは、管理者が複数のタスクを準備、アップグレード、および展開することが必要です。アップグレードプロセスのハイレベルタスクには以下が含まれます。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として Salesforce.com にログインします。
2. Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します。
3. 新規パッケージをインストールします。

Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します

新規リリースにアップグレードする前に、Salesforce 内のスケジュールされたジョブをすべて削除します。スケジュールされたジョブを削除すると、製品のアップグレードが正常に終了する確率が高くなります。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として Salesforce.com にログインします。
2. [Setup] リンクをクリックします。
[Personal Setup] ページが表示されます。

3. [Administration Setup] セクションで、[Monitoring]、[Scheduled Jobs] を展開します。
 4. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - Chart data point generation for User Story Completion Status
 - リリースの [Daily chart] データ ポイントの生成
 - 要件の [Daily chart] データ ポイントの生成
 - スプリントの [Daily chart] データ ポイントの生成
 - Daily update External Id for all objects
 - Requirements trend calculation
 5. [Personal Setup] ページに戻ります。
- これで、新規パッケージをインストールする準備ができました。

新規パッケージのインストール

インストールを開始する前に、パッケージを実稼働環境にインストールするか、テスト環境にインストールするかを決定します。

以下の手順で、インストール サイトへログインし、パッケージをインストールします。インストールが完了すると、インストールの成功を通知する電子メールが Salesforce.com から、ログイン時に使われた電子メール アドレスに送信されます。

以下の表は、各プロファイルのアクセス レベルを示しています。

ユーザ プロファイル	アクセス レベル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ
Vision ユーザ	Vision ユーザ

次の手順に従ってください:

1. 以下のいずれかの URL に管理者としてログインします。

実稼働環境:

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000JLAS>

テスト環境

<https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000JLAS>

2. 以下の情報を確認します。

バージョン名

Spring 2012 D1

バージョン番号

3.5

発行元

CA Technologies

3. [続行]をクリックします。

[Handle Component Name Conflicts]ページが表示されます。

4. [Block installation and list conflicts]を選択して、[Next]をクリックします。

[Approve Package API Access]手順ページが表示されます。

5. [Extended Object Permissions]を設定します。

6. すべてのオブジェクトの読み取り、作成、編集の許可を選択します。

7. [次へ]をクリックします。

[Choose security level]ページが表示されます。

8. [Security Settings]オプションを選択して、プロファイル別にユーザアクセスを設定します。

9. 各プロファイルのアクセスレベルを上の表の記述どおりに設定します。

10. [次へ]をクリックします。

11. [Install]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷によっては、このインストールに 30 分以上かかる場合があります。

Winter 2012、Service Pack 1 から CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 2 へアップグレードする方法

このセクションでは、CA Product Vision を Winter 2012、Service Pack 1 を Winter 2012、Service Pack 2 へアップグレードする方法について説明します。

重要: CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 2 へのアップグレードが CA Agile Vision および CA Clarity PPM の CA Vision アドインへのアップグレードと同じタイミングで完了するように計画し、リリースレベルが同じになるようにします。

必須: Winter 2012、Service Pack 1 からのアップグレード。前リリースがインストールされている場合は、リリースをスキップせずに、順番にアップグレードします。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](#) にログインします。
2. [Winter 2012、Service Pack 2 Release をインストールします \(P. 34\)](#)。
3. [パッケージをデプロイします \(P. 37\)](#)。

CA Product Vision のインストール

インストールするには、既存のジョブを削除し、Web サイトにログインしてインストールを開始します。

以下の表は、各ユーザプロファイルのアクセスレベルを示しています。アクセスレベルは、以下の手順で設定します。

ユーザプロファイルおよびアクセスレベル	CA Product Vision	CA Product Vision と CA Agile Vision の両方
Agile Vision スーパーユーザ	X	
Agile Vision ユーザ	X	
Product Vision スーパーユーザ	X	X
Product Vision ユーザ	X	X
Vision スーパーユーザ	X	
Vision ユーザ	X	

次の手順に従ってください:

- 既存のジョブを削除します。
 - [セットアップ]ページを開き、[管理者設定]セクションから、[監視] - [スケジュール済みジョブ]を展開します。
 - 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - ユーザストーリー完了ステータスのチャートデータポイント生成
 - リリースの[日次チャート]データポイントの生成
 - 要件の[日次チャート]データポイントの生成
 - スプリントの[日次チャート]データポイントの生成
 - すべてのオブジェクトの外部 ID の日次更新
 - 要件トレンドの計算
- ブラウザウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。サンドボックス環境へインストールする場合は、URL の「login.salesforce.com」を「test.salesforce.com」に置き換えてください。
<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000JjNw>

3. [Login]ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[Login]をクリックします。
新規バージョンのインストール用に提供されているパスワードを入力し、[Submit]をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。
4. インストールする CA Technologies - PPM パッケージのバージョンおよび発行者が以下のようになっていることを確認します。
 - Winter 2012 C2
 - 3.3
 - CA Technologies
5. [次へ]をクリックして、ウィザードの手順を実行します。
[セキュリティオプション]ページが表示されます。
6. [セキュリティ設定]オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。
7. この手順の最初に指定されたアクセスレベルを該当するプロファイルに設定し、[次へ]をクリックして続行します。たとえば、Agile Vision スーパー ユーザとして、Agile Vision スーパー ユーザのアクセスレベルを設定します。
8. [次へ]をクリックして、続行します。
9. [インストール]をクリックします。
ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。インストールが完了すると、Salesforce.com から現在ログインしているユーザの電子メールアドレスに電子メール通知が送信されます。
Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このインストーラには 30 分以上かかる場合があります。

CA Product Vision のデプロイ

既定では、CA Agile Vision および CA Product Vision の両方が有効です。これらのサービスの一方のライセンスのみを購入された場合は、以下の手順に従って、もう一方を無効にしてください。

次の手順に従ってください：

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。
[Personal Setup] ページが表示されます。
2. [App Setup] メニューから [Installed Packages] を選択します。
3. CA Technologies - PPM、Version 3.3 がインストールされていることを確認します。
4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。
[インストール済みパッケージの詳細] ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細] セクションで [デプロイ] をクリックします。
パッケージコンポーネントが表示された [パッケージのデプロイ] ページが表示されます。
6. [デプロイ] を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。
<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings>
8. 以下の手順のいずれを実行して、[保存] をクリックします。
 - CA Product Vision のみのライセンスを所有している場合は、[Agile Vision] チェック ボックスをオフにします。
 - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェック ボックスをオンにしておきます。これで、製品が完全にデプロイされました。

Winter 2012 から CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 1 ヘアップグレードする方法

このセクションでは、CA Product Vision を Winter 2012 から Winter 2012、Service Pack 1 ヘアップグレードする方法について説明します。

重要: CA Product Vision Winter 2012、Service Pack 1 へのアップグレードが CA Agile Vision および CA Clarity PPM の CA Vision アドインへのアップグレードと同じタイミングで完了するように計画し、リリースレベルが同じになるようにします。

必須: Winter 2012 からのアップグレード。前リリースがインストールされている場合は、リリースをスキップせずに、順番にアップグレードします。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](#) にログインします。
2. Winter 2012、Service Pack 1 Release をインストールします。
3. [パッケージをデプロイします。](#) (P. 40)
4. [ユーザプロファイルを更新します。](#) (P. 40)
5. [アップグレードジョブを実行します。](#) (P. 42)

CA Product Vision のインストール

インストールを開始する前に、パッケージを実稼働環境にインストールするか、テスト環境にインストールするかを決定します。

各ユーザプロファイルに割り当てるアクセスレベルを以下の表に示します。アクセスレベルの設定は、以下の手順で行います。

ユーザプロファイルおよびアクセスレベル	CA Agile Vision	CA Agile Vision および CA Product Vision
Agile Vision スーパーユーザ	X	X
Agile Vision ユーザ	X	X
Product Vision スーパーユーザ		X
Product Vision ユーザ		X
Vision スーパーユーザ		X
Vision ユーザ		X

次の手順に従ってください:

- 以下のいずれかの URL にログインします。

実稼働環境:

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000J1AS>

テスト環境

<https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000J1AS>

- ログイン認証情報を入力し、[ログイン]をクリックします。
[パッケージインストールの詳細]ページが表示されます。
- 新規バージョンのインストール用に提供されているパスワードを入力し、[Submit]をクリックします。パスワードがない場合は、CA サポートにご連絡ください。
- インストールする CA Technologies - PPM パッケージのバージョンと、発行元の名前を確認します。

バージョン名

Winter 2012 C1

バージョン番号

3.2

発行元

CA Technologies

5. [続行]をクリックします。
[Handle Component Name Conflicts]ページが表示されます。
6. [Block installation and list conflicts]を選択して、[Next]をクリックします。
[Approve Package API Access]手順ページが表示されます。
7. [Extended Object Permissions]を設定します。
すべてのオブジェクトの読み取り、作成、編集の許可を選択します。
8. [次へ]をクリックします。
[Choose security level]ページが表示されます。
9. [Security Settings]オプションを選択して、プロファイル別にユーザアクセスを設定します。
10. この手順の最初に指定されたアクセスレベルを該当するプロファイルに設定し、[Next]をクリックして続行します。
たとえば、Agile Vision スーパー ユーザとして、Agile Vision スーパー ユーザのアクセスレベルを設定します。
11. [Install]をクリックします。
ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。

Force.com プラットフォームの現在の負荷によっては、このインストールに 30 分以上かかる場合があります。インストールが完了すると、ユーザが現在ログインに使用しているアカウントの電子メール アドレスに、インストールが正常に終了したことを通知する電子メールが送信されます。

既定では、CA Agile Vision および CA Product Vision の両方が有効です。これらのサービスの一方のライセンスのみを購入された場合は、以下の手順に従って、もう一方を無効にしてください。

次の手順に従ってください:

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。
[Personal Setup]ページが表示されます。
2. [App Setup]メニューから[View Installed Packages]を選択します。

3. CA Technologies - PPM、Version 3.0 がインストールされていることを確認します。
4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。
[パッケージの詳細] ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細] セクションで [デプロイ] をクリックします。
パッケージコンポーネントが表示された [パッケージのデプロイ] ページが表示されます。
6. [デプロイ] を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。
<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings>
8. 以下の手順のいずれを選択して、[保存] をクリックします。
 - CA Product Vision のみのライセンスを所有している場合は、[Agile Vision] チェックボックスをオフにします。
 - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェックボックスをオンにしておきます。

これで、製品が完全にデプロイされました。

ユーザ プロファイルの更新

この手順では、以下のプロファイルに対する Apex クラス アクセスの更新方法を説明します。

- Agile Vision スーパーユーザ
- Agile Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Product Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ

注: 以下のセクションの各ユーザ プロファイルで更新するページのリストにおいて、ネームスペース(プレフィクス) *ca_agile* は含まれていません。このプレフィクスはユーザ インターフェース内の各ページ名に付けられます。

ユーザ プロファイルを更新する方法

1. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理セットアップ]メニューから[ユーザの管理]をクリックして展開し、[プロファイル]をクリックします。
プロファイルリストページが表示されます。
3. プロファイルのオブジェクトアクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザ プロファイルをリスト内で探し、プロファイル名をクリックします。
プロファイル ページが表示されます。
 - b. [有効化された Apex クラス アクセス]リンクにマウスのカーソルを合わせ、[編集]をクリックします。
[有効化された Apex クラス アクセス]ページが表示されます。
 - c. 利用可能な Apex クラスから **XMLObjectField** を選択し、[追加] (右矢印)をクリックして、クラスを有効化された Apex クラスに追加します。
 - d. [保存]をクリックし、ユーザのリストに戻ります。
4. すべてのプロファイルに対してこの手順を実行します。

アップグレード ジョブ (Winter 2012) の実行

新しいパッケージへのアップグレードを完了するには、アップグレード ジョブを実行します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインします。
2. [セットアップ]をクリックして、Salesforce.com セットアップ ページを開きます。
3. ページヘディングから、ログインに使用したユーザ名をクリックし、システムログを選択します。
4. [Execute Apex]セクションのテキストフィールドに以下のステートメントをコピーし、[Execute]をクリックします。

注: Salesforce.com では、最大 5 つのジョブを同時に実行できます。ジョブステートメントは、3 つくらいのグループ単位で貼り付けます。

CA Agile Vision および CA Product Vision の両方をアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.ProductMigrationJob());
Database.executeBatch(new ca_agile.TaskMigrationJob());
Database.executeBatch(new ca_agile.TeamDailyDataMigrationJob());

Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());
Database.executeBatch(new
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

CA Product Vision のみをアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());
Database.executeBatch(new
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

5. [セットアップ] ページから、[管理者設定] - [監視] - [Apex ジョブ] を展開し、正常に完了するまでサブミットしたジョブをモニタします。
6. CA Product Vision にログインし、[ホーム] ページを開きます。

CA Agile Vision および CA Product Vision ジョブが自動的に再スケジュールされます。

Spring 2011 バージョン 2.10 から CA Product Vision Winter 2012 バージョン 3.0 にアップグレードする方法

このセクションでは、CA Agile Vision と CA Product Vision の両方が有効になっている Winter 2012 のインスタンスを、CA Agile Vision と CA Product Vision を有効にしたまま Spring 2011 リリースへアップグレードする方法について説明します。

重要: CA Agile Vision および CA Product Vision Winter 2012 へのアップグレードは、CA Clarity PPM の CA Vision アドインへのアップグレードと同じタイミングで完了するように計画し、リリース レベルが同じになるようにしてください。

必須: バージョン 2.10 からのアップグレード。以前のリリースがインストールされている場合、V3.0 にアップグレードする前に V2.10 にアップグレードしてください。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](#) にログインします。
2. Winter 2012 リリースをインストールします。
3. パッケージをデプロイします。
4. [ユーザ プロファイルを更新します](#) (P. 44)。
5. アップグレード ジョブを実行します。

ユーザ プロファイルの更新

この手順では、以下のプロファイルに対する Apex クラス アクセスの更新方法を説明します。

- Agile Vision スーパーユーザ
- Agile Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Product Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ

注: 以下のセクションの各ユーザ プロファイルで更新するページのリストにおいて、ネームスペース(プレフィクス) *ca_agile* は含まれていません。このプレフィクスはユーザ インターフェース内の各ページ名に付けられます。

ユーザ プロファイルを更新する方法

1. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理セットアップ]メニューから[ユーザの管理]をクリックして展開し、[プロファイル]をクリックします。
プロファイルリストページが表示されます。
3. プロファイルのオブジェクトアクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザ プロファイルをリスト内で探し、プロファイル名をクリックします。
プロファイル ページが表示されます。
 - b. [Enabled Apex Class Access]リンクの上にマウスを移動させ、[編集]をクリックします。
[Enabled Apex Class Access]ページが表示されます。
 - c. 利用可能な Apex クラスから **XMLObjectField** を選択し、[追加] (右矢印)をクリックして、クラスを有効化された Apex クラスに追加します。
 - d. [保存]をクリックし、ユーザのリストに戻ります。
4. すべてのプロファイルに対してこの手順を実行します。

アップグレード ジョブ (Winter 2012) の実行

新しいパッケージへのアップグレードを完了するには、アップグレード ジョブを実行します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインします。
2. [セットアップ]をクリックして、Salesforce.com セットアップ ページを開きます。

3. ページヘディングから、ログインに使用したユーザ名をクリックし、システムログを選択します。
4. [Execute Apex] セクションのテキストフィールドに以下のステートメントをコピーし、[Execute] をクリックします。

注: Salesforce.com では、最大 5 つのジョブを同時に実行できます。ジョブステートメントは、3 つくらいのグループ単位で貼り付けます。

CA Agile Vision および CA Product Vision の両方をアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.ProductMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TaskMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TeamDailyDataMigrationJob());  
  
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

CA Product Vision のみをアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

5. [セットアップ] ページから、[管理者設定] - [監視] - [Apex ジョブ] を展開し、正常に完了するまでサブミットしたジョブをモニタします。
6. CA Product Vision にログインし、[ホーム] ページを開きます。

CA Agile Vision および CA Product Vision ジョブが自動的に再スケジュールされます。

CA Product Vision Winter 2011 A1 から Spring 2011 へのアップグレード方法

このセクションでは、CA Agile Vision と CA Product Vision の両方が有効になっている Winter 2011 A1 のインスタンスを、Spring 2011 リリースへアップグレードする方法について説明します。

1. Spring 2011 リリースをインストールおよびデプロイします。
CA Agile Vision および CA Product Vision のインストール手順に従って、Spring 2011 リリースパッケージをインストールし、パッケージをデプロイします。
2. [カスタム値を選択リスト値にコピーします](#) (P. 47)。
3. ユーザプロファイルを更新します。
4. [インボックスをアップグレードします](#) (P. 55)。
5. [アップグレードジョブを実行します](#) (P. 56)。

選択リスト値へのカスタム値のコピー

この手順では、要件の状態、要件のカテゴリ、および製品の状態に関する任意のカスタム値を選択リスト値に移行する方法について説明します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインします。
2. 組織内にあるカスタムの要件の状態、要件のカテゴリ、および製品の状態をすべて表示します。

新しい選択リスト値と比較する値のリストが必要です。利用可能な状態とカテゴリをすべて検索するには、以下の手順に従います。

- a. [Administration] メニューから [Configure] をクリックします。
- b. [Requirement State]、[Requirement Category]、または [Product State] をクリックします。
- c. 値のタイプごとに表示される値をメモしておきます。

3. 値のいずれかのタイプについてカスタム値が見つかった場合は、[Custom Objects]ページを開き、以下の手順に従って値を移行します。
 - a. [Setup]をクリックします。
[Personal Setup]ページが表示されます。
 - b. [App Setup]メニューから[Create]をクリックして展開し、[Objects]をクリックします。
[Custom Objects]ページが表示されます。
4. [Custom Objects]ページを開いた状態で、以下の手順に従って要件の状態値を更新します。
 - a. 要件カスタム オブジェクトを探し、[Requirement]リンクをクリックします。
[Requirement (Managed)]ページが表示されます。
 - b. [Custom Fields & Relationships]セクションで、[State]リンクを探してクリックします。
[State (Managed)]ページが表示されます。
 - c. [Picklist Values]セクションで、見つかった値を、作成したリストにある要件の状態と比較します。
 - d. 要件の状態が[Picklist Values]セクションに表示されない場合は、[New]をクリックして、不足している要件の状態を追加します。
注: 各カスタム要件の状態を追加します。
5. [Custom Objects]ページを開いた状態で、以下の手順に従って要件のカテゴリ値を更新します。
 - a. 要件カスタム オブジェクトを探し、[Requirement]リンクをクリックします。
[Requirement (Managed)]ページが表示されます。
 - b. [Custom Fields & Relationships]セクションで、[Category]リンクを探してクリックします。
[Category (Managed)]ページが表示されます。
 - c. [Picklist Values]セクションで、見つかった値を、作成したリストにある要件のカテゴリと比較します。
 - d. 要件のカテゴリが[Picklist Values]セクションに表示されない場合は、[New]をクリックして、不足している要件のカテゴリを追加します。
注: 各カスタム要件のカテゴリを追加します。

6. [Custom Objects] ページを開いた状態で、以下の手順に従って製品の状態値を更新します。
 - a. 製品カスタム オブジェクトを探し、[Product]リンクをクリックします。
[Product (Managed)] ページが表示されます。
 - b. [Custom Fields & Relationships] セクションで、[State]リンクを探してクリックします。
[State (Managed)] ページが表示されます。
 - c. [Picklist Values] セクションで、見つかった値を、作成したリストにある製品の状態と比較します。
 - d. 製品の状態が [Picklist Values] セクションに表示されない場合は、[New]をクリックして、不足している製品の状態を追加します。
注: 各カスタム製品の状態を追加します。

ユーザ プロファイルの更新

この手順では、以下のプロファイルについて基本的なオブジェクト アクセスおよびページアクセスを更新する方法について説明します。

- Agile Vision スーパーユーザ
- Agile Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Product Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ

更新方法は手順の中で示します。また、各プロファイルで更新するオブジェクト アクセスおよびページアクセスの値は、手順に続くセクションの中で示します。

注: 以下のセクションの各ユーザ プロファイルで更新するページのリストにおいて、ネームスペース(プレフィクス) *ca_agile* は含まれていません。このプレフィクスはユーザ インターフェース内の各ページ名に付けられます。

次の手順に従ってください:

1. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定] ページが表示されます。

2. [管理セットアップ]メニューから[ユーザの管理]をクリックして展開し、[プロファイル]をクリックします。
プロファイルリストページが表示されます。
3. プロファイルのオブジェクトアクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザプロファイルをリスト内で探し、[編集]をクリックします。
プロファイルの編集ページが表示されます。
 - b. ユーザプロファイルの[カスタム オブジェクト許可]セクションにスクロールし、表に示す追加アクセスの選択または削除を行います。
追加はXでマークされ、削除はテキストで示されています。
 - c. 作業が完了したら、[保存]をクリックします。
プロファイルリストページが表示されます。
4. プロファイルのページアクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザプロファイルをプロファイルリスト内で探し、ユーザプロファイルの名前をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
 - b. Visualforceページへのアクセスの有効化セクションにスクロールし、[編集]をクリックします。
 - c. Visualforceページへのアクセスの有効化リストボックスで、矢印キーを使ってページを追加または削除します。
追加または削除するページは、この手順に続く各プロファイルセクションの中で示します。
 - d. 完了したら[保存]をクリックし、[Back to List: Profiles]をクリックします。

Agile Vision スーパーユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタフィールド	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
リリースリソース	X					
User_Story_リリース	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: TreeEditorGridJs

Agile Vision ユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタフィールド	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
リリースリソース	X					
スプリントチーム			チェックマークの削除			
User_Story_リリース	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: TreeEditorGridJs

Product Vision スーパーユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタフィールド	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタ	X	X	X	X		

ページアクセス

- ページアクセスへの変更はありません。

Product Vision ユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタフィールド	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X		
業種	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: TopThemesJs

Vision スーパーユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準					チェックマークの削除	チェックマークの削除
バックログ フィルタ					チェックマークの削除	チェックマークの削除

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
バックログ フィルタアイテム					チェックマークの削除	チェックマークの削除
エピック					チェックマークの削除	チェックマークの削除
フィルタフィールド	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X	X	X
業種	X	X	X	X	X	X
フィルタ	X	X	X	X		
リリースリソース		チェックマークの削除	チェックマークの削除	チェックマークの削除	チェックマークの削除	チェックマークの削除
ストーリー依存性					チェックマークの削除	チェックマークの削除
タスク					チェックマークの削除	チェックマークの削除
タスク作業ログ					チェックマークの削除	チェックマークの削除
チーム日次データ					チェックマークの削除	チェックマークの削除
テストケースのステップ	X					
テーマ					チェックマークの削除	チェックマークの削除
ユーザストーリーリリース	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
ユーザ通知					X	X
ユーザストーリー					チェックマークの削除	チェックマークの削除

ページアクセス

- 削除: AveeUpgrade

Vision ユーザ

ページアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
Agile Vision ユーザ			X			
フィルタフィールド	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X		
業種	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
リリースリソース		チェックマークの削除	チェックマークの削除	チェックマークの削除		
スプリントチーム			チェックマークの削除			
テストケースのステップ	X					
テーマ					チェックマークの削除	チェックマークの削除

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
User_Story_リリース	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: AgilePlannerUserDetail
- 追加: AgilePlannerUserEdit
- 追加: PersonaDetail
- 追加: PersonaEdit
- 追加: SprintTeamDetail
- 追加: TaskDetailJs
- 追加: UserStoryCommentDetail
- 削除: AveeUpgrade
- 削除: TopAgilePlannerUser
- 削除: TopCategories
- 削除: TopSprintList

インボックスのアップグレード

CA Idea Vision がインストールされている場合、CA Idea Vision でアイデアを製品および要件にリンクするには、CA Product Vision と CA Idea Vision 間で事前にすべてのアイデアを同期する必要があります。

アイデアを同期するには、Product Vision メニューを開き、[概要] メニューから [インボックス] を選択します。アイデアが同期されていることを示す情報メッセージが表示されます。同期ジョブが完了するまで数分かかる場合があります。

アップグレード ジョブの実行

アップグレード ジョブの実行方法

1. システム管理者としてログインします。
2. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
3. Spring_2011_Release をクリックしてメニューを表示し、システム ログをクリックします。
システム ログのページが表示されます。
4. 以下のステートメントを、[Apex の実行]セクションのテキスト フィールドにコピーリンクします。

```
Database.executeBatch(new
ca_agile.IdeaVisionDataMigrationStep1Job('ca_agile'), 200);
Database.executeBatch(new
ca_agile.IdeaVisionDataMigrationStep2Job('ca_agile'), 200);
Database.executeBatch(new
ca_agile.RequirementCustomValueDataMigrationJob('ca_agile'), 200);
Database.executeBatch(new
ca_agile.ProductCustomValueDataMigrationJob('ca_agile'), 200);
Database.executeBatch(new ca_agile.RequirementIDDataMigrationJob('ca_agile'),
200);
```

5. [実行]をクリックします。

各ジョブの完了時に、電子メール通知が送信されます。最後の電子メールが受信されると、データ移行が終了します。

CA Product Vision バージョン 2.8 からバージョン 2.10 へのアップグレード

インストールおよびパッケージのデプロイを行なって、CA Product Vision バージョン 2.10 にアップグレードします。

必須: バージョン 2.8 からのアップグレード。以前のリリースがインストールされている場合、V2.10 にアップグレードする前に V2.8 にアップグレードしてください。

重要: CA Agile Vision および CA Product Vision Spring 2011 (バージョン 2.10) へのアップグレードは、CA Clarity PPM 用の CA Vision アドインへのアップグレードと同時に行なうようにしてください。これは、リリース レベルを同じにするためです。

CA Product Vision のアップグレードでは、管理者が複数のタスクを準備、アップグレード、および展開することが必要です。アップグレード プロセスのハイレベルタスクには以下が含まれます。

次の手順に従ってください:

1. CA Product Vision のアップグレード。
2. CA Product Vision をデプロイします。

CA Product Vision のアップグレード準備

CA Product Vision を Spring 2011 から Spring 2011 パッチにアップグレードする前に、以下の設定手順を完了します。

次の手順に従ってください:

1. CA Product Vision ホーム ページから、[セットアップ]をクリックします。
Salesforce.com の[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理者設定]メニューから[監視]をクリックし、[スケジュール済みジョブ]に移動します。
[All Scheduled Jobs]ページが表示されます。
3. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - リリースの[日次チャート]データ ポイントの生成
 - スプリントの[日次チャート]データ ポイントの生成

CA Product Vision のアップグレード

パッケージをアップグレードします。

次の手順に従ってください:

1. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。テスト環境へインストールする場合は、URL の「login.salesforce.com」を「test.salesforce.com」に置き換えてください。

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000Jhn1>

2. [Login] ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[Login] をクリックします。
3. このバージョンの CA Product Vision にアップグレードするために提供されたパスワードを入力し、[Submit] をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#) にご連絡ください。

CA Product Vision の新旧バージョンが表示されたアップグレードのサマリが表示されます。

4. [Continue] をクリックして、アップグレード ウィザードの手順を完了し、[Next] をクリックします。
- [security options] ページが表示されます。
5. [security settings] オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。

アクセス レベル	プロファイル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ
Vision ユーザ	Vision ユーザ

6. [Next]をクリックして、続行します。
7. 次のチェック ボックスをオンにします:[Ignore Apex test failures that could cause the installed application not to function properly.]
8. [Install]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[Processing]ページが表示されます。アップグレードの完了後、Salesforce.com から現在ログインしているユーザ名の電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。

Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このアップグレードには 30 分以上かかる場合があります。
9. ログアウトしてから、システム管理者として再度ログインし、スケジュールしたジョブを実行します。
10. [Setup]ページに移動し、[Administration Setup]の[Monitoring]メニューから[Scheduled Jobs]を選択します。
11. [Submitted By]ユーザがシステム管理者であることを確認します。

[Submitted By]ユーザがシステム管理者ではない場合は、ジョブを削除し、ログアウト後、システム管理者としてログインします。

CA Product Vision のデプロイ

注: Salesforce.com で自動的にパッケージが展開される場合、[Deploy]ボタンは無効になります。また、残りの手順をスキップできます。[Deploy]ボタンが有効な場合、このセクションの手順に従ってパッケージを展開します。

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。

[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。
3. CA Technologies - PPM、Version 2.10 がインストールされていることを確認します。
4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。

[パッケージの詳細]ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。

パッケージコンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。

6. [デプロイ]を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。
<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings>
8. 以下の手順のいずれを実行して、[保存]をクリックします。
 - CA Agile Vision のライセンスのみがある場合は、[Product Vision] チェックボックスをオフにします。
 - CA Product Vision のライセンスのみがある場合は、[Agile Vision] チェックボックスをオフにします。
 - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェックボックスをオンにしておきます。

これで CA Product Vision が完全にデプロイされました。

第4章: CA Vision アドイン

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Agile Vision アドインのダウンロード \(P. 61\)](#)

[CA Vision アドインのインストール \(P. 62\)](#)

[CA Clarity PPM 用の CA Vision アドインのアップグレード \(P. 62\)](#)

[CA Vision のプロセスとジョブの無効化 \(P. 63\)](#)

[CA Vision アドインの適用 \(P. 64\)](#)

[CA Vision アドインの設定 \(P. 64\)](#)

CA Agile Vision アドインのダウンロード

このセクションでは、以下に示す CA Agile Vision および CA Product Vision の統合用に [CA サポート](#) からアドインをダウンロードする手順について説明します。

- CA Clarity PPM
- JIRA
- HP Quality Center

アドインのダウンロード後のインストール手順の詳細については、「*CA Agile Vision 統合ガイド*」を参照してください。

CA Vision アドインのダウンロード方法

1. CA 電子メール アドレスおよびパスワードを使って、[support.ca.com](#) にログインします。
2. [Support] メニューから [Download Center] をクリックします。
[Download Center] ページが表示されます。
3. 以下の製品情報を選択し、[Go] をクリックします。
 - CA Clarity PPM Integration with CA Agile/Product Vision - FORCE.COM
 - リリース 3.6
 - Gen level 0000
[Product Downloads] ページが表示されます。

4. [Product Components]セクションまでスクロールし、以下の zip ファイルの隣の[Download]をクリックします。
 - GEN06140936E.zip - JIRA および CA Agile Vision 統合用のアドインをダウンロード
 - GEN06141118E.zip - HP Quality Center および CA Agile Vision 統合用のアドインをダウンロード
 - GEN06141215E.zip - CA Clarity PPM および CA Agile Vision 統合用のアドインをダウンロード

CA Vision アドインのインストール

CA Vision アドインをインストールします。

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理(NSA)アプリケーションにログインします。
2. CA Clarity PPM アプリケーション(app)およびバックグラウンド(bg)サービスをシャットダウンします。
詳細については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。
3. Clarity アプリケーションサーバに CA Vision アドインをインストールします。
詳細については、CA Agile Vision および CA Product Vision の「統合ガイド」を参照してください。
4. Clarity app と bg サービスを再起動します。

CA Clarity PPM 用の CA Vision アドインのアップグレード

以下のプロセスでは、CA Clarity PPM システム管理者が CA Vision アドインをアップグレードする方法について説明します。

1. 最新の CA Vision アドインをインストールします。
2. CA Vision のプロセスとジョブを無効にします。
3. CA Vision アドインを適用します。
4. CA Vision アドインを設定します。

CA Vision のプロセスとジョブの無効化

CA Vision アドインのアップグレード時の競合を防止するため、CA Clarity PPM 内のジョブおよびプロセスを無効にします。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM アプリケーションにログインします。
2. [パーソナル]メニューから[レポートとジョブ]を選択します。
3. [ジョブ]をクリックして[スケジュール済みジョブ]に移動し、以下に示すジョブのスケジュール済みインスタンスをすべて削除します。
 - CA Vision 製品同期
 - Agile Vision タイムシート同期
 - Product Vision 要件とタスク マッピングの同期
 - Product Vision ロール同期
4. 一覧表示されているジョブの実行中のインスタンスがないことを確認します。
5. [パーソナル]メニューから[オーガナイザ]を選択します。
アクションアイテムリストが表示されます。
6. [プロセス]をクリックし、[開始済み]に移動します。「実行中」または「停止中」の状態の以下のプロセス インスタンスをキャンセルします。
 - AV フィールド ロック中
 - Product Vision マップ済みタスクの作成
 - Agile Vision タスクタイプの自動入力
 - Product Vision プロジェクトとタスク情報の同期

CA Vision アドインの適用

以下の手順では、CA Clarity PPM に CA Vision アドインを適用する方法について説明します。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM 管理ツールにログインします。
2. [CA Clarity Studio]メニューから[アドイン]を選択します。
アドインリストが表示されます。
3. CA Vision アドインをクリックします。
アドインの詳細が表示されます。
4. [適用]をクリックします。
アドインの更新またはインストールを確認するプロンプトが表示されます。
5. [はい]をクリックし、アップグレードプロセスが完了するまで数分待ちます。
CA Vision アドインの詳細が表示され、すべての項目のステータスが「インストール済み」として示されます。

CA Vision アドインの設定

CA Clarity PPM で CA Vision アドインを使用できるように、CA Vision アドインを設定します。

次の手順に従ってください:

1. 以下の手順に従ってプロジェクトオブジェクトを開きます。
 - a. CA Clarity PPM 管理ツールで、[CA Clarity Studio]メニューから[オブジェクト]を選択します。
 - b. プロジェクトオブジェクト名を使用してフィルタします。
オブジェクトリストが表示されます。
 - c. プロジェクトオブジェクトをクリックして開きます。

2. 以下の手順に従って、プロジェクトプロパティビューの[統合ステータス]セクションをセットアップします。
 - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクトプロパティビューの[レイアウト: 編集]リンクをクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - b. CA Vision プロジェクトプロパティを展開し、[統合ステータス]セクションを展開します。
 - c. [統合ステータス]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。
セクションのプロパティが表示されます。
 - d. [保存して終了]をクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - e. [戻る]をクリックします。
オブジェクト定義ビューが表示されます。

3. [発行]をクリックしてビューを発行します。
確認のプロンプトが表示されます。[はい]をクリックして、ビューの発行を確認します。
4. 事前定義されたレベルで実行されるように以下のジョブを再スケジュールします。
 - CA Vision 製品同期
 - Agile Vision 作業ログ同期
 - Product Vision 要件とタスク マッピングの同期
 - Product Vision ロール同期
5. [データ管理]メニューから[プロセス]を選択します。
使用可能なプロセスのリストが表示されます。
6. 以下のプロセスをクリックして開き、コンテキストメニューから[検証]をクリックします。
 - AV フィールド ロック中
 - Product Vision マップ済みタスクの作成
 - Agile Vision タスク タイプの自動入力
 - Product Vision プロジェクトとタスク情報の同期
7. すべての検証オブジェクトを選択し、[すべてを検証してアクティブにする]をクリックします。
検証が完了すると、オブジェクトのステータスが[検証済み]に、モードが[アクティブ]にそれぞれ変わります。
8. Clarity app と bg サービスを再起動します。

第 5 章: CA Product Vision を完全機能状態にします。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Agile Vision のみのアップグレード後に CA Product Vision を設定する方法 \(P. 67\)](#)

CA Agile Vision のみのアップグレード後に CA Product Vision を設定する方法

このセクションでは、アップグレードされた CA Agile Vision のみの組織に CA Product Vision が含まれている場合に、CA Product Vision のすべての機能を有効にする方法について説明します。

CA Product Vision ライセンスを購入した後、[パッケージの設定] ページでライセンスを有効にします。CA Agile Vision のみの組織に対してユーザプロファイルが自動作成されない場合は、次のユーザプロファイルを作成します。

- Product Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ

ベストプラクティス: 表示されている順にプロファイルを作成します。

Product Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成

Product Vision スーパー ユーザ プロファイルは Product Vision ユーザに基づいています。そのため、Product Vision ユーザに対して行われた選択は、このユーザに対してすでに行われています。この手順では、スーパー ユーザに必要な追加の設定について説明します。

Product Vision スーパ ユーザ プロファイルを作成する方法

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ上の[設定]をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定]セクションでは、[ユーザの管理]をクリックし、次に、プロファイルをクリックします。リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
プロファイルの複製ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロファイルのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。Product Vision ユーザを選択します。

プロファイル名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Product Vision スーパ ユーザ」と入力します。

4. [保存]をクリックします。
新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。
5. プロファイルの詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
6. [カスタム オブジェクト許可]セクションで、以下のオブジェクトアクセスの表に示す追加の選択を行います。
7. [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
8. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。

9. [ページアクセス] テーブルにリスト表示されている [Visualforce] ページを追加します。このテーブルは、[有効化された Visualforce ページ] リストまでこのプロセッサーに続きます。これらのページは [利用可能な Visualforce ページ] リストで選択でき、[選択済み] リストに移動できます。
10. [保存] をクリックします。

Product Vision のスーパーユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
Agile Vision ユーザ		X	X	X	X	X
バックログ フィルタ						
バックログ フィルタ アイテム						
ベースライン						
ベースライン の差異						
カテゴリ						
コメント						
会社						
エピック						
機能						
フィルタ フィールド						
地域					X	X
インボックス						
業種					X	X
フィルタ						
マスタリリース						X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
マスタリリース製品						X
マスタリリースリソース						
移行						
ペルソナ					X	X
ペルソナソース					X	X
製品						
製品フィーチャー	X	X	X	X		
製品インボックス						
製品ペルソナ						
Product 製品						
製品ソース						
製品の状態		X	X	X		
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース						
リリースリソース						
リリーススナップショット詳細						
要件						
要件 Clarity タスク						
要件フィーチャー						
要件フラット						
要件アイデア						
要件インボックス						
要件マスタリリース						X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
要件ペルソナ						
要件製品						
要件ロール					X	X
要件ソース						
要件の状態						
要件ユースケース						
ロール		X	X	X	X	X
セクション						X
ソース					X	X
ソース インボックス						
スプリント						
スプリントチーム						
ストーリー依存性						
タスク						
タスク作業ログ						
チーム						
チーム日次データ						
チームメンバ						
テストケース						
テストケースのステップ						
テーマ						
トレーサビリティマトリクス						
ユースケース						
User_Story_リリース						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
User_Story_テーマ						
ユーザ通知						
ユーザストーリー						
ビュー						X
フィールドの表示						X
仮想ウォール カラー マッピング						

ページアクセス

注: org プレフィックスはリストのページ名には含まれていません。

- AgilePlannerUserDetail
- AgilePlannerUserEdit
- CustomFieldConfiguration
- MasterReleaseDetail
- MasterReleaseEdit
- PropertyViewConfiguration
- RoleDetail
- RoleEdit
- TopMasterReleases
- TopRoles
- TestChartComponentPage

Product Vision ユーザ プロファイルの作成

Product Vision ユーザ プロファイルを作成する方法

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ上の[設定]をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定]セクションでは、[ユーザの管理]をクリックし、次に、プロファイルをクリックします。

リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
プロファイルの複製ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロファイルのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。標準プラットフォーム ユーザを選択します。

プロファイル名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Product Vision ユーザ」と入力します。

4. [保存]をクリックします。
新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。
5. [フィールドレベル セキュリティ]セクションの[カスタム フィールドレベル セキュリティ]サブセクションで、[表示]、次に[編集]をクリックして既定の設定を変更して、以下のアイテムの設定を完了します。1つのアイテムの変更が終わるたびに、[保存]をクリックし、次に、[プロファイルに戻る]をクリックします。

製品

読み取り専用列。次のチェック ボックスをオンにします: [外部 ID(内部)]、[JIRA プロジェクト ID(内部)]、[QC プロジェクト(内部)]。

リリース

読み取り専用列。次のチェック ボックスをオンにします: [外部 ID]。

ユーザ ストーリー

読み取り専用列。次のチェック ボックスをオンにします: [外部 ID]。

6. プロファイル詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
[編集]ページが表示されます。
7. [カスタム App]セクションで、[Agile Vision コア]フィールドで[既定値]オプションを選択します。
8. タブ設定セクションのカスタムタブ設定サブセクションで、[CA Technologies PPM]フィールドについて既定値オンを選択し、その他すべてのカスタムタブについて[タブ非表示]をオンにします。
9. [管理許可]セクションで、[API 有効化]、[アウトバウンド メッセージの送信]、および[セットアップおよび設定の表示]をオンにします。このセクションのその他のすべてのチェックボックスはオフのままにします。
10. [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
11. プロファイルの詳細ページのレコードタイプ設定セクションで、[ユーザストーリー]の隣の[編集]リンクをクリックし以下の手順を完了します。
 - a. 選択されたレコードタイプリスト内で[マスタ]を選択し、左向(削除)矢印をクリックします。
 - b. 使用可能なレコードタイプリスト内で[問題]および[ユーザストーリー]を選択し、右向(追加)矢印をクリックします。
 - c. [既定値]フィールドで、[ユーザストーリー]を選択します。
 - d. [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
12. プロファイル詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
[編集]ページが表示されます。
13. [カスタムオブジェクト許可]セクションで、以下のオブジェクトアクセスの表に示すチェックボックスをオンにします。
14. [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。

15. プロファイルの詳細ページの[有効化された Apex クラス アクセス]セクションで、[編集]をクリックし、以下のクラスを除くすべての Apex クラスを削除します。
 - OrgProvisioningDataMigrationJob
 - OrgProvisioningDataMigrator
16. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。
17. [ページアクセス]テーブルにリスト表示されている[Visualforce]ページを追加します。このテーブルは、[有効化された Visualforce ページ]リストまでこのプロシージャに続きます。これらのページは[利用可能な Visualforce ページ]リストで選択でき、[選択済み]リストに移動できます。
18. [保存]をクリックします。

Product Vision のユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
Agile Vision ユーザ	X					
バックログ フィルタ	X					
バックログ フィルタアイテム	X					
ベースライン	X	X	X	X		
ベースラインの差異	X	X	X	X		
カテゴリ	X					
コメント						
会社	X	X	X	X		
エピック						
機能	X	X	X	X		
フィルタフィールド	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
地域	X	X	X	X		
インボックス	X	X	X	X		
業種	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
マスタリリース	X	X	X	X	X	
マスタリリース製品	X	X	X	X	X	
マスタリリースリソース	X					
移行						
製品	X	X	X	X		
製品フィーチャー						
製品インボックス	X	X	X	X		
製品ペルソナ	X	X	X	X		
Product 製品						
製品ソース	X	X	X	X		
製品の状態	X					
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース	X	X	X	X		
リリースリソース	X	X	X	X		
リリース スナップショット詳細	X	X	X	X		
要件	X	X	X	X		
要件 Clarity タスク	X	X	X	X		
要件フィーチャー	X	X	X	X		
要件フラット						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
要件アイデア	X	X	X	X		
要件インボックス	X	X	X	X		
要件マスタリース	X	X	X	X	X	
要件オーナー	X	X	X	X		
要件ペルソナ	X	X	X	X		
要件製品	X	X	X	X		
要件リリース	X	X	X	X		
要件ロール	X	X	X	X		
要件ソース	X	X	X	X		
要件の状態	X					
要件ユースケース	X	X	X	X		
ロール	X					
セクション	X	X	X	X	X	
ソース	X	X	X	X		
ソース インボックス						
スプリント						
スプリント チーム						
ストーリー依存性						
タスク						
チーム日次データ						
チームメンバ						
テストケース						
テストケースのステップ						
テーマ						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
トレーサビリティマトリクス	X	X	X	X		
ユースケース						
ユーザストーリーリリース						
ユーザストーリーテーマ						
ユーザ通知						
ユーザストーリー						
ビュー	X	X	X	X	X	
フィールドの表示	X	X	X	X	X	
仮想ウォール カラーマッピング						

ページアクセス

注: org プレフィックスはリストのページ名には含まれていません。

About	ReleaseDetailJs
AcceptanceCriteriaDetail	ReleaseEdit
AcceptanceCriteriaEdit	RequirementDetail
BasicSelectorDataSource	RequirementDetailJs
BlankChartData	RequirementEdit
Chatterfeeds	RequirementMerge
ConfigModalJs	RequirementSelectorDataSource
CurrencyFormattingJS	SearchResults
DetailInterior	SourceDetail
ExtActionStatusPage	SourceDetailJs
FeatureDetail	SourceEdit
FeatureDetailJs	TestCaseTreeSelectorDataSource
FeatureEdit	TopAgilePlannerUser
FilterWindowJs	TopAgilePlannerUserJs
ForceUserSelectorDataSource	TopFeatures
InLineEditFunction	TopFeaturesJs
InboxDetail	TopHome
LicenseError	TopHomeJs
ListTemplate	TopInboxes
LoadMaskJs	TopPVDashboards
MasterTemplate	TopPVHome
MasterTemplateJs	TopPersonas
MultiValuedLookupJs	TopProjects
PageBlockCell	TopProjectsJs
PersonaDetail	TopReleases
PersonaDetailJs	TopReleasesJs
PersonaEdit	TopRequirements
PickerJs	TopRequirementsJs
ProductDetailJs	TopSources
ProductJs	TopThemesJs
ProjectDetail	TreeEditorGridJs
ProjectEdit	UserSelectorDataSource
ReleaseDetail	VelocityChartData
	coreJs

Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成

Vision スーパー ユーザ プロファイルは Vision ユーザ プロファイルに基づいています。従って、Vision スーパー ユーザに対して行われた選択は、このユーザに対してすでに行われています。このプロシージャでは、Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成時に必要な追加の設定について説明します。

次の手順に従ってください：

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ上の[設定]をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定]セクションでは、[ユーザの管理]をクリックし、次に、プロファイルをクリックします。リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
プロファイルの複製ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロファイルのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。Vision ユーザを選択します。

プロファイル名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Vision スーパ ユーザ」と入力します。

4. [保存]をクリックします。
新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。
5. プロファイルの詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
6. [Custom Object Permissions]セクションで、以下のオブジェクトアクセスの表に示す追加の選択を行います。
7. [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
8. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。

9. [ページアクセス] テーブルにリスト表示されている [Visualforce] ページを追加します。このテーブルは、[Enabled Visualforce Pages] リストまでこのプロセージャに続きます。これらのページは [利用可能な Visualforce ページ] リストで選択でき、[選択済み] リストに移動できます。
10. [保存] をクリックします。

Vision スーパーユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
Agile Vision ユーザ		X		X	X	X
バックログ フィルタ						
バックログ フィルタアイテム						
ベースライン					X	X
ベースライン の差異						
カテゴリ					X	X
コメント						
会社					X	X
エピック						
機能					X	X
フィルタ フィールド						
地域					X	X
インボックス						
業種					X	X
フィルタ						
マスタリリース						X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
マスタリリース製品						X
マスタリリースリソース						
移行						
ペルソナ					X	X
ペルソナソース					X	X
製品						X
製品フィーチャー					X	X
製品インボックス						
製品ペルソナ						
Product 製品						
製品ソース					X	X
製品の状態					X	X
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース					X	X
リリースリソース						
リリーススナップショット詳細					X	X
要件					X	X
要件 Clarity タスク					X	X
要件フィーチャー						
要件フラット						
要件アイデア						
要件インボックス						
要件マスタリリース					X	X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
要件ペルソナ					X	X
要件製品					X	X
要件リリース					X	X
要件ロール					X	X
要件ソース					X	X
要件の状態					X	X
要件ユースケース					X	X
ロール		X	X	X	X	X
セクション					X	X
ソース					X	X
ソース インボックス						
スプリント		X	X	X	X	X
スプリント チーム		X		X	X	X
ストーリー依存性						
タスク						
タスク作業ログ						
チーム		X		X	X	X
チーム日次データ						
チーム メンバ					X	X
テストケース						
テストケースのステップ						
テーマ						
トレーサビリティ マトリクス					X	X
ユースケース					X	X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
ユーザストーリーリリース						
ユーザストーリーテーマ						
ユーザ通知					X	X
ユーザストーリー						
ビュー					X	X
フィールドの表示					X	X
仮想ウォール カラーマッピング					X	X

ページアクセス

注: org プレフィックスは以下のリストのページ名には含まれていません。

- AgilePlannerUserDetail
- AgilePlannerUserEdit
- CustomFieldConfiguration
- 統合
- PropertyViewConfiguration
- RoleDetail
- RoleEdit

SprintTeamDetail
SprintTeamEdit
TopAgilePlannerUser
TopMasterReleases
TopReports
TopRoles
TopSprintList
TopSprintPlanning

Vision ユーザ プロファイルの作成

Vision ユーザ プロファイルは Product Vision ユーザに基づいています。そのため、Product Vision ユーザに対して行われた選択は、このユーザに対してすでに行われています。このプロシージャでは、Vision ユーザの作成時に必要な追加の設定について説明します。

Vision ユーザ プロファイルを作成する方法

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ上の[設定]をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定]セクションでは、[ユーザの管理]をクリックし、次に、プロファイルをクリックします。リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
プロファイルの複製ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロファイルのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。Product Vision ユーザを選択します。

プロファイル名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Vision ユーザ」と入力します。

4. [保存]をクリックします。

新規ユーザーのプロファイル詳細ページが表示されます。

5. プロファイルの詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。

6. [カスタム オブジェクト許可]セクションで、以下のオブジェクトアクセスの表に示す追加の選択を行います。

7. [保存]をクリックします。

プロファイルの詳細ページが表示されます。

8. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。

9. [ページアクセス]テーブルにリスト表示されている[Visualforce]ページを追加します。このテーブルは、[Enabled Visualforce Pages]リストまでこのプロセージャに続きます。これらのページは[利用可能な Visualforce ページ]リストで選択でき、[選択済み]リストに移動できます。

10. [保存]をクリックします。

Vision のユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
Agile Vision ユーザ			X			
バックログ フィルタ		X	X	X		
バックログ フィルタアイテム		X	X	X		
ベースライン						
ベースライン の差異						
カテゴリ						
コメント	X	X	X	X		
会社						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
エピック	X	X	X	X		
機能						
フィルタフィールド						
地域						
インボックス						
業種						
フィルタ						
マスタリリース						
マスタリリース製品						
マスタリリースリソース						
移行						
ペルソナ						
ペルソナソース						
製品						
製品フィーチャー	X	X	X	X	X	X
製品インボックス						
製品ペルソナ					X	X
Product 製品						
製品ソース						
製品の状態						
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース						
リリースリソース						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
リリーススナップショット詳細						
要件						
要件 Clarity タスク						
要件フィーチャー						
要件フラット						
要件アイデア						
要件インボックス	X	X	X	X		
要件マスタリース						
要件ペルソナ						
要件製品						
要件リリース						
要件ロール						
要件ソース						
要件の状態						
要件ユースケース						
ロール						
セクション						
ソース						
ソースインボックス						
スプリント	X					
スプリントチーム	X		X			
ストーリー依存性	X	X	X	X		
タスク	X	X	X	X		
タスク作業ログ	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
チーム	X		X			
チーム日次データ	X	X	X	X		
チームメンバ	X	X	X	X		
テストケース	X					
テストケースのステップ	X					
テーマ	X	X	X	X		
トレーサビリティマトリクス					X	X
ユースケース	X	X	X	X		
User_Story_リリース	X	X	X	X		
User_Story_テーマ	X	X	X	X		
ユーザ通知	X	X	X	X		
ユーザストーリー	X	X	X	X		
ビュー						
フィールドの表示						
仮想ウォール カラー マッピング	X	X	X	X		

ページアクセス

注: org プレフィックスはリストのページ名には含まれていません。

AgilePlannerUserDetail	TaskWorklogDetailJs
AgilePlannerUserEdit	TaskWorklogEdit
BacklogDetail	TeamAddSprints
BacklogDetailJs	TeamDetail
BacklogEdit	TeamEdit
BurndownHoursChartData	TeamMemberDetail
BurndownPointChartData	TeamMemberEdit
ColorFieldJs	TeamNew
DeactivateTeamWithFutureSprints	TestCaseDetail
EpicDetail	TestChartComponentPage
EpicEdit	ThemeDetail
EpicSelectorDataSource	ThemeEdit
MasterReleaseDetail	TopBacklogList
MasterReleaseEdit	TopBacklogPlanning
RowExpanderJs	TopBacklogPlanningJs
ScrumTeamDetailPage	TopCalendar
SprintDetail	TopDashboardJs
SprintDetailJs	TopDashboards
SprintDetail_UserStories_DS	TopDocumentation
SprintEdit	TopEpicList
StateList	TopEpicPlanning
StoryDependencyDetail	TopEpicPlanningJs
StoryDependencyEdit	TopSprintsJs
StorySelectorDataSource	TopTeamMembers
TaskDetail	TopTeams
TaskDetailJs	TopTeamsJs
TaskEdit	TopThemes
TaskNew	UserStoryCommentDetail
TaskWorklogDetail	UserStoryCommentDetailJs
	UserStoryCommentEdit